

子ども学フォーラム (全2回) 考えすぎる時代を共に生き抜く —かかわり方のコリをほぐすセッション—

人とかかわっても手ごたえがない、人とかかわることが難しい—現代において人と関係を築くとき、うまくそつなくやるにはどうしたらよいか考えすぎてしまうことがあります。その理由は大きく二つ考えられます。一つには、おとなが自らのありように不安を抱え、他者とのかかわりに身を投じる自信がなく、どこか躊躇したり過剰にかかわったりするからです。もう一つには、かかわり方や他者の理解の仕方など、十分な方法を得ていないからです。つまり、自信がないからかかわり方に確信が持てず、他者のことやかかわり方がわからないから自信がもてないのです。

本企画では、関係性形成の原点に戻り、自らの心身の状態や信念などの捉え直しと、他者や子どもを「知る・識る」こと、かかわることの相互関係とコツを探ります。

第1回 講演 よりよい人間関係を築くためのコツ

現代人の人格のあり様—科学の時代の人格構造—

20世紀は科学への期待が高まった時代でした。科学技術の進歩とともに科学的思考(自由平等、人権思想)が人びとの心に浸透していけば、人類はこよなく幸せになるはずであったのです。ところが、現実にそれらが達成されてみると、如何にも生き辛い世の中になってしまったかの感があります。児童虐待、自殺率の向上、子が親を傷めるといったことが日常茶飯となっています。私たちは、この事態を如何に考え、どのような対応をとる必要がありますか。—精神科医として臨床を通じた体験をもとに、現代人の人格傾向を視野にして若干の考察を加えたいと思います。

2014年11月29日(土) 午後2時～4時30分

受付開始 午後1時30分

奈良女子大学 佐保会館2階ホール

講師 牛島 定信 氏 (三田精神療法研究室)

※第1回の定員は100名です(申し込み順)。E-mailおよびFaxで下記まで申し込みください。定員に余裕があれば当日参加も可能です。

プロフィール

牛島 定信
(うじまさだのぶ)



1963年九大医学部卒。
ロンドン大精神医学研究所、福岡大などを経て、91年慈恵医大教授。
2004年東京女子大学文理学部教授。日本サイコセラピー学会理事長、日本精神分析学会会長、日本森田療法学会理事長、日本児童青年精神医学会理事長などを歴任。
06年には森田正馬賞を受賞。『境界性パーソナリティ障害—日本版治療ガイドライン』、『詳解 子どもと思春期の精神医学』(いづれも金剛出版)など編著書多数。

第2回 ワークショップ 子どもにかかわる人のためのダンス/ムーブメントセラピー入門 オーセンティックムーブメントと遊びの世界

プロフィール



荒川 香代子
(あらかわかよこ)

認定ダンスセラピスト。1995年に一般人を対象とした心身健康体験学習講座「ボディ・マインド・ヘルスセンター」を開講。複数の病院にて勤務する他、IWAD環境福祉専門学校学校の講師、AT総合企画研究所主催「高齢者ヘルスプロモーション」の講師を務めるなど、精力的に活動している。

オーセンティック・ムーブメントは、日常化した知性による合理化から離れ「ただ身体がしたいように動きが起こるといった衝動につきあう」特性があり、遊びの世界へとあなたを導いてくれます。想像と直感を一緒に育みましょう。

2014年12月7日(日) 午前10時～午後1時

受付開始 午前9時30分

奈良女子大学コラボレーションセンター2階
多目的共同セミナー室

講師 荒川 香代子 氏

(認定ダンスセラピスト、ボディ・マインド・ヘルスセンター代表)

※第2回の定員は20名です(申し込み順)。E-mailおよびFaxで下記までお申し込みください。定員充足次第、申し込みを締め切ります。

※ご参加は、大人・学生に限ります。心身共に健康な方が対象です。

※動きやすく暖かい服装でお越しください。

対象 一般市民、教育・保育関係者、援助者、学生・院生ほか

参加費 各回とも無料

お問い合わせ先

奈良女子大学地域貢献事業「次世代自立支援の子ども学」事務局(代表:真栄城輝明)

電話/FAX 0742-20-3957

メール kodomo-gaku@cc.nara-wu.ac.jp

ホームページ <http://www.nara-wu.ac.jp/kodomo-gaku/>

主催 奈良女子大学地域貢献事業「次世代自立支援の子ども学」

共催 奈良女子大学臨床心理相談センター、奈良女子大学ダンスセラピー実践課題検討会(成瀬研究室)

後援 奈良県、奈良市、大和郡山市、奈良県教育委員会、奈良市教育委員会、大和郡山市教育委員会、奈良女子大学附属学校部

